

広■報■かわづ

April 4

2014年 No.500

幻想的なライトアップ

踊り子温泉会館川沿いの河津桜並木

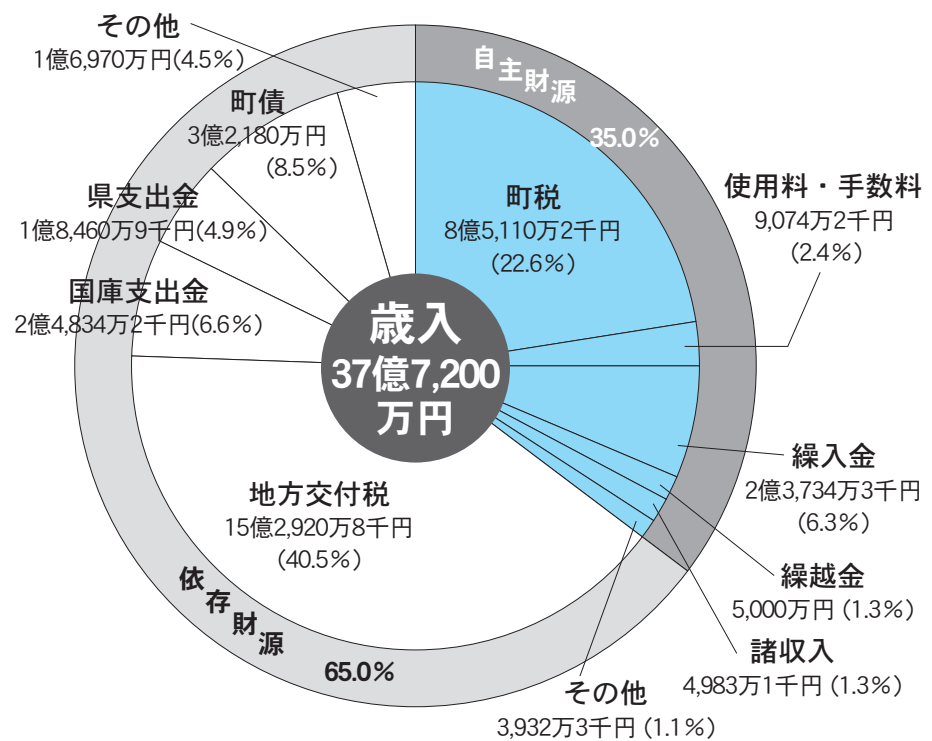
平成26年度 予算

平成26年度のまちづくりの基本となる当初予算が、町議会3月定例会で可決されました。一般会計の予算総額は、37億7,200万円で、前年度当初に比べると1.9%の増額となりました。厳しい財政状況のなか、次世代に負担を先送りすることなく、規律ある財政運営を堅持する方針のもと、町民生活に密着した堅実・着実型の予算となりました。

さくら幼稚園卒園式



一般会計歳入の構成



歳入の特徴

前年度当初予算に比べ、自主財源全体では14.5%の増額となりました。これは町民税や固定資産税、たばこ税などの町税を前年度決算見込みから350万3千5百円（前年比4.3%）の増額としたことによるものです。依存財源全体では574万3千円（前年比2.4%）の増額となりました。これは公的病院への支援に伴う地方交付税の増額や、消費税率引上げに伴う地方消費税交付金の増額によるものです。



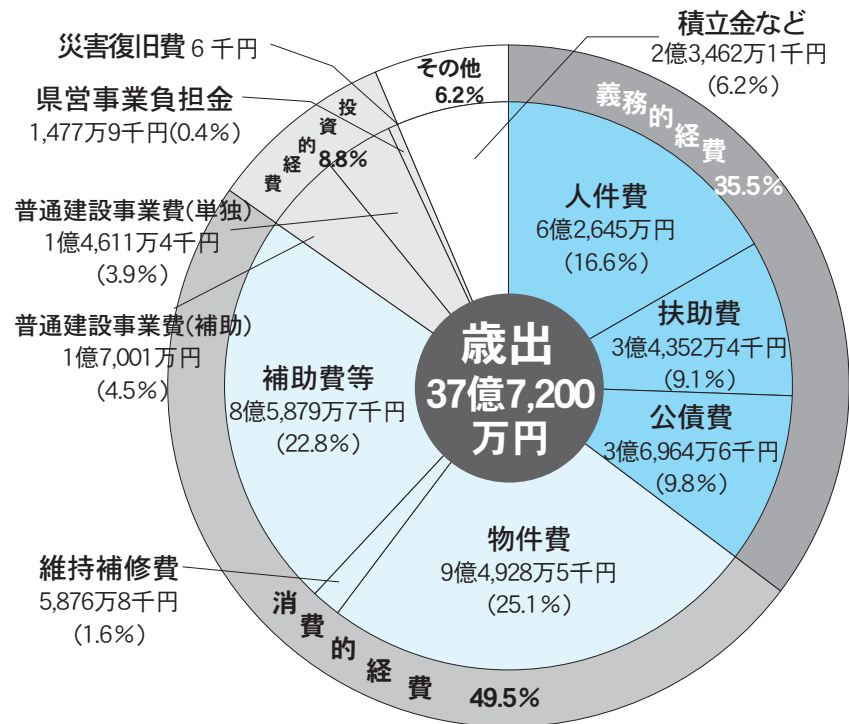
平成26年度公営企業会計予算書



平成26年度一般会計・特別会計予算書

私たちが暮らすまちづくりに、 一般会計37億7,200万円、 総額61億1,236万8千円。

一般会計歳出の構成



歳出の特徴

義務的経費の扶助費が4108万円の増額（前年比13.6%）となりました。これは臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金給付事業の増額によるものです。物件費や補助費などを含む消費的経費は、公的病院運営補助事業などの増により9122万8千円の増額（前年比2.9%）となりました。投資的経費では、見高浜地区地域振興施設整備事業などの減により3025万円の減額（前年比8.4%）となりました。

民生費 8億142万円 ■臨時福祉給付金給付事業 3806万6千円 ■子育て世帯臨時特例給付金給付事業 867万9千円 など
衛生費 5億7,079万3千円
総務費 5億5,245万3千円
教育費 4億3,892万8千円
公債費 3億6,964万6千円
商工費 2億9,146万3千円
消防費 2億8,851万3千円
土木費 2億5,383万4千円
農林水産業費 1億3,906万5千円
議会費 5,587万9千円 予備費 1,000万円 災害復旧費 6千円

特別会計予算 合計 22億4,310万9千円

特別会計名	当初予算額
河津駅前広場整備事業	439万8千円
土地取得	111万9千円
国民健康保険	13億1,935万4千円
介護保険	8億1,280万5千円
後期高齢者医療	9,793万3千円
国民宿舎「かわづ」運営事業	750万円

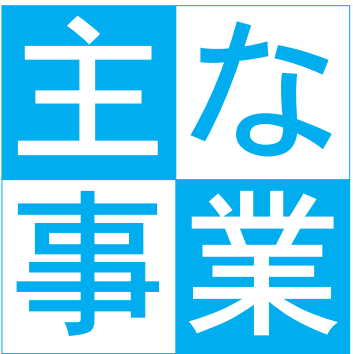
特別会計・公営企業会計

公営企業会計予算(歳出) 合計 3億1,000万8千円

企業会計名	当初予算額
水道事業	2億2,292万5千円
温泉事業	8,708万3千円

■予算の基本■ 町の行政を運営する基本的な収入と支出を一般会計といいます。これに対して特別会計は、保険料などを扱う特定の事業を行う会計で、国民健康保険事業など6つの会計を設けています。公営企業会計とは、水道や温泉など公共の利益を目的にして経営される収入と支出で、独立採算制により運営されています。総額は、これらの会計をすべて合わせた町の総予算額です。（金額は各会計間の重複分を除いた額）

平成26年度一般会計



本年度行う主な事業を、町の第4次総合計画基本計画の分類に沿って紹介します。

新年度予算は、次世代に負担を先送りすることなく、規律ある財政運営を堅持する方針にもとづき、4つの重点テーマを設け予算を配分しました。

□継続事業 ■新規事業

平成26年度予算の重点テーマ

- ① 災害に強いまちづくりに向けた対策の充実強化
- ② 子育ての支援・教育環境の充実
- ③ 地域資源を活かした観光交流などの推進
- ④ 町民生活の向上・安全確保のための基盤整備の推進

一人ひとりが
輝くまちづくり
(健康・福祉・医療)

- 救急医療対策事業 1億983万2千円
- 障害者(児)自立支援事業 9230万3千円
- 臨時福祉給付金給付事業 3806万6千円
- 消費税率引き上げに際し、低所得者への臨時的給付措置を行います。
- 成人健康診査相談事業 1806万1千円
- 子育て世帯臨時特例給付金給付事業

支援の計画策定を行います。

II 豊かな心身を育む
まちづくり
(教育・文化)

- 河津中学校校舎耐震補強事業 1億1732万3千円
- 河津中学校校舎耐震補強計画策定業務 649万1千円
- 河津中学校体育館耐震補強計画策定業務 491万1千円
- 河津中学校校舎耐震補強計画策定業務 43万3千円
- 男女共同参画基本計画策定事業 110万7千円
- 複合施設整備検討事業 43万3千円

- 東小学校校舎耐震補強計画策定事業 649万1千円
- 河津中学校校舎耐震補強計画策定業務 491万1千円
- 河津中学校体育館耐震補強計画策定業務 43万3千円
- 男女共同参画基本計画策定事業 110万7千円
- 複合施設整備検討事業 43万3千円



子育てサークル「くれよん倶楽部」の子ども縁日

III 地域資源を活かした
まちづくり
(産業・観光)

- 踊り子温泉会館運営事業 5699万4千円

観光施設整備管理事業 5464万5千円

観光振興事業 4161万6千円

伊豆半島ジオパーク推進事業 677万8千円



河津桜観光交流館

七滝観光センターへ河津七滝ビジターセンターの設置と、河津桜観光交流館にビジターセンターサテライトコーナーの設置を行います。

新ブランド創出事業 500万円

町商工会が経済産業省の補助を受けて行う「河津グルメ&魅力発信」事業を支援します。

公共施設太陽光発電整備事業 500万円

河津桜観光交流館などの公共施設へ太陽光発電を設置し、再生可能エネルギー事

業に取り組みます。



太陽光発電システム

ふれあい農園整備構想策定業務 200万円

小売事業者強化事業 150万円

商工団体が実施する情報化対策(HP製作・講習会の開催)に係る費用を2分の1補助します。

IV 豊かで快適な
まちづくり
(生活・環境・安全)

- こみ処理対策事業 2億1817万8千円
- 常備消防事務事業 1億5757万2千円
- 防災施設整備事業 5635万3千円
- 道路維持事業 4667万5千円

検調査を行います。

町道大堰笹原線道路改良事業 4595万8千円

非常備消防事務事業 4435万5千円

第2分団の可搬ポンプ・積載車の更新と町消防団員訓練服の更新を行います。



地域の安全を守る消防団

合併浄化槽設置補助事業 2958万8千円

し尿処理対策事業 2715万3千円

生活交通対策事業 2511万2千円

防災対策事業 1786万9千円

防災資機材や備蓄食料、自主防資機材の購入や区の実施する避難路整備に対する補助などを行います。

橋梁維持事業 1557万7千円

橋梁長寿命化修繕計画に基

づく補修として、2橋の調査設計、3橋の補修工事を行います。

町道奥谷津線道路拡幅事業 645万円

災害対策用施設整備事業 645万円

災害時の応急仮設住宅建設用地および緊急用資機材置場の整備を行います。

町営バス運行事業 578万5千円

浜公民館耐震補強計画策定業務 330万1千円



浜公民館

V 協働による
まちづくり
(行政と住民の協働)

- 地図情報システムデータ作成事業 3905万4千円
- 町ホームページ更新事業 47万6千円

第4次総合計画の着実な推進を図るため、重点的に取り組む4つのテーマを設定。町が直面する課題に焦点をあてた防災、子育て、教育、地域産業の活性化に重点を置いた予算です。

おかげさまで広報かわづが500号 広報かわづで振り返る町の歴史

昭和42年12月に創刊した「広報かわづ」が、今号で500号となりました。昭和から平成へ約半世紀の広報の歴史を、町の歴史とともに振り返ります。



昭和42年12月(第1号)

町民の声を できるだけのせてみたい

広報かわづ第1号、表紙には、当時の故高崎元吉町長が「広報紙は町民各位に承知して貰わねばならないことや、同時に町民の声といったものをできるだけのせてみたい。広報を通じて、町当局と町民との連絡が円滑にとれ、ガッチリと結び合って、明朗な河津町の建設に大きな力をもたらすならば幸いこの上もないこと」と述べています。



昭和52年11月(第82号)

初景滝の伊豆の踊子像を表紙に

初景滝のほとりにある「伊豆の踊子像」。当時の七滝観光協会（岡秀彦会長）が滝以外の名物を創ろうと発起し、踊子と学生像を作ること。関係者の協力によって無事に完成し、落成式が行われました。



昭和57年7月(第120号)

白馬村との姉妹都市提携を特集

観光地として発展を遂げている白馬村と、温暖な地で観光の発展を目指す河津町が姉妹都市提携を締結。白馬村民と交流を図る人たちから、自然環境が異なる両町村が交流を持ち、互いの発展につながることを提言したことがきっかけに。

河津町の歴史

- 昭和33年 上河津村と下河津村が合併し、河津町が誕生。人口1万464人、世帯数2054戸。
- 昭和36年 伊豆急行開通。
- 昭和38年 田中に役場新庁舎、湯ヶ野に国民宿舎かわづが完成。
- 昭和40年 「伊豆の踊子」の作者、川端康成氏を迎え湯ヶ野で伊豆の踊子文学碑除幕式が行われる。
- 昭和42年 広報かわづ第1号発行。
- 昭和43年 河津町章制定。
- 昭和45年 新天城トンネル有料道路開通。河津八幡神社三番叟が町文化財に指定される。
- 昭和46年 カーネーション団地「花泉園」完成。
- 昭和47年 見高入谷にみかん生産団地が完成。
- 昭和49年 伊豆半島沖地震発生（M6.9）。
- 昭和50年 町の木に「河津桜」、町の花に「花菖蒲」を制定。
- 昭和51年 集中豪雨で町全域に被害。河津地震発生（M5.5）。湯ヶ野山に環境衛生センター建設。
- 昭和52年 初景滝のほとりに「伊豆の踊子像」が完成。
- 昭和53年 伊豆大島近海地震発生（M7.0）。「駅前プラザ」オープン。
- 昭和55年 広報かわづ第100号発行。西中学校・南中学校が統合し、河津中学校が充足。
- 昭和56年 七滝ループ橋開通。天皇陛下が大噴湯、大そてつをご見学。
- 昭和57年 南小学校新校舎完成。白馬村と姉妹都市提携を結ぶ。
- 昭和58年 町制施行25周年。西小学校新校舎・体育館完成。第1回産業まつり開催。
- 昭和59年 B & G河津海洋センターオープン。
- 昭和60年 端戸山テニスコートオープン。第1回ミス伊豆の踊子コンテスト開催。
- 昭和61年 河津七滝・今井浜海岸が「静岡の自然100選」に、国道414号（天城路）が「日本の路100選」に選ばれる。

広報かわづの変化をたどる

昭和42年12月の創刊当時は、B5版4頁で不定期発行。昭和55年8月から月1回の定期発行となり昭和58年5月から、町民の力を紙面に生かそうと、民間広報協力員制度が始まりました。

民間広報協力員の任期は2年。月1回の定例会で広報かわづの反省や企画案などを話し合います。現在は「フレッシュ」や「人」、「二人」などのコーナーを担当し、年に1〜2回程特集号の企画編集をしています。民間広報協力員制度が始まったことにより、町民の皆さんに参加してもらう新婚さんコーナーなどの企画が始まりました。

町の発展とともに皆さんにお伝えする情報量が増加してきたため、昭和61年5月号から現在のA4版になり、平成2年1月号では、表紙が初のカラー印刷に。平成4年8月号から毎号2色印刷となり、より見やすくなりました。



新婚さんコーナー

voice. 1

元民間広報協力員から



千葉昭さん
＝谷津＝

広報かわづを通じた
人と人とのつながり

協力員は年齢や職種などさまざまで、多くの世界観に触れることができて楽しかった。広報かわづを通してできた人とのつながりが今も続いているし、大切に思う。



堤重佳さん 友子さん
＝筏場＝

親しみの持てる
広報かわづを目指して

当時の広報かわづは文字が主流で、より親しみの持てる広報紙にしようとみんなで意見を出し合い、よく話し合いました。改めて思い返すと楽しい思い出ばかりです。



鈴木頭一さん
＝上峰＝

大変だったけれど
今では楽しい思い出

協力員を5年間やらせていただきました。特集記事の編集では、ほかの協力員の家にあがらせてもらい、一緒に編集したことも。大変だったけれど、今では楽しい思い出です。



平成3年10月(第230号)

災害の記憶を記録に残す使命

この年の9月10日午後から11日未明にかけて、伊豆半島南部を局地的な大雨が襲いました。河川の氾濫や土砂崩れ、家屋の損壊・流失など大きな被害をもたらしました。



平成10年6月(第310号)

花の町の歴史をつづる表紙

平成10年5月3日、かわづ花菖蒲園がオープンしました。ゴールデンウィーク中ということもあり、オープン前日の町内者無料開放を含め、4日間で3092人が訪れ、300種類の花菖蒲が来場客の目を楽しませました。



平成15年12月(第376号)

町の45周年を振り返る特集

民間広報協力員で、町政施行45周年をテーマに、保育園や郵便局、各学校の校舎など、変わりゆく姿を当時の写真と比較して特集しました。多くの関係者にお話を伺い、河津町の歩みを紹介しました。



平成25年4月(第488号)

新たな取組を見やすく掲載

伊豆ならんだの里河津平安の仏像展示館が、昨年の2月20日にオープン。展示館には、南禅寺所蔵の平安時代の貴重な仏像24体が展示されています。今年の2月20日に開館1周年を迎え、記念イベントが催されました。

昭和62年 南小学校体育館完成。

昭和63年 町制30周年記念式典開催。

平成元年 広報かわづ第200号発行。東小学校体育館完成。町営温泉集中管理事業が始まる。

平成2年 湯ヶ野湯坂と踊子歩道が手づくり郷土賞に選ばれる。

平成3年 伊豆南部集中豪雨で約42億円の被害。

平成4年 「県みずべ100選」に今井浜海岸と河津七滝が選ばれる。温泉スタンド「ほつとステーション」オープン。

平成5年 かわづ花の会設立。踊り子温泉会館、サンシップ今井浜完成。

平成7年 環境庁調査で今井浜海岸がきれいな海全国7位に選ばれる。第1回天城峠コンサート開催。

平成8年 天皇后両陛下が天城で視察のため来町される。

平成9年 広報かわづ第300号発行。保健福祉防災センター完成。デイサービス事業開始。

平成10年 町のホームページ開設。かわづ花菖蒲園オープン、入園者2万人を超える。

平成11年 日本さくらの会「百万本植樹運動」で河津桜記念植樹式が行われる。

平成12年 第10回河津桜まつりに125万人が訪れ、しずおか観光大賞受賞。

平成13年 河津バガテル公園開園。

平成14年 エコクリンセンター東河稼働。

平成15年 文化の家図書館完成。役場新庁舎完成。町政45周年・河津桜生誕50年記念式典。

平成16年 東京都渋谷区と災害時相互応援協定を締結。

平成17年 広報かわづ第400号発行。河津桜原木を町指定天然記念物に指定。

平成18年 町内幼稚園を統合し、さくら幼稚園開園。

平成19年 伊豆見高入谷高原温泉オープン。

平成20年 峰温泉大噴湯公園、新学校給食センター完成。

平成21年 国民文化祭開催。

平成22年 河津桜観光交流館オープン。

平成23年 第4次総合計画策定。

平成24年 白馬村姉妹都市提携30周年事業開催。

平成25年 河津平安の仏像展示館オープン。

平成26年 広報かわづ第500号発行。

voice.2

広報かわづにメッセージ



小林宗一さん 恵さん
権くん 歩南ちゃん
＝下峰＝

子どもたちの
広報出演が楽しみ

フレッシュで載ったとき、周りからたくさん声をかけられました。結婚して家族も増え、これから子どもたちが広報かわづに出演することを楽しみにしています。



小川三幸さん
＝長野＝

広報かわづで交通指導員の活動を知り、昨年11月から交通指導員として活動しています。東小学校の児童が登校するとき、横断歩道に立って事故防止に努めています。

広報かわづを読んで
交通指導員に



左から 塩田ことさん 湯ヶ野＝
山下シウさん 湯ヶ野＝
内田保さん 湯ヶ野＝

顔を合わせた時
話題になります

広報かわづはずっと前のものからとって、体操教室で集まったときの話題に。今の子どもたちに、昔の話を知ってもらえるような内容もおもしろいかもしれないね。



植松慶司さん
＝浜＝

「人」や新しく始まった「夢」、昔あった家族紹介など、多くの町民を知ることができておもしろい。また、自分の子どもたちが載った広報かわづは大切にしています。

多くの町民が載って
読んでいておもしろい

より親しみやすい
広報紙を目指します



広報かわづは、町のできごとや町政のお知らせなどの情報を皆さんに伝え続けてきました。そして、皆さんのご協力により500号を迎えることができました。

過去の広報かわづは、文化の家図書館で全冊見ることができました。また、町外の希望者には、ふるさとふれあい通信とともに広報かわづを送付しています。

広報かわづは、これからも町の身近な情報を発信し、行政と皆さんをつなぐパイプ役として、町民参加型広報という原点を忘れずに歩んでいきます。町民の皆さんにわかりやすく、そして親しんでいただける広報紙づくりを心がけ、町の歩みを伝え続けます。

町の観光大使に磯野夫妻

町観光大使任命式

町観光大使任命式が3月3日に行われ、タレントの磯野貴理子さんと夫の高橋東吾さんが、町観光大使に任命されました。磯野さんは過去に番組で、高橋さんは青年時代から家族旅行で河津町を訪れ、町関係者との交流が縁となって、町観光大使を快諾。磯野さんは「常に河津のことを考え、多くの人にPRしていきます」と笑顔で抱負を話してくれました。



任命式で花束を受け取り笑顔を見せる磯野夫妻

スローピッチで姉妹都市交流

河津町・白馬村 スローピッチ交流

長野県白馬村のスローピッチチームが3月8日に河津町を訪れ、町内のスローピッチチーム「河津スターズ」と南小学校グラウンドで交流試合を行いました。夏は白馬、春は河津で交流試合を行っている両チーム。今年は東京都大田区からも1チーム参加して、和やかな雰囲気の中で交流試合に汗を流しました。試合後、国民宿舎かわづで懇親会を行い親睦を深めました。



スローピッチソフトボールに汗を流す参加者

ボールの使い方を確認する参加者



基本を学び晴天の町内散策

ノルディックウォーキング体験

教育委員会主催のノルディックウォーキング体験が3月4日、11日、16日の3日間、町文化の家生涯学習室で行われ、参加者はボールの扱い方や体の使い方、動きの効果などの基本を学びました。講師は日本ノルディックフィットネス協会ベーシックインストラクター加藤耕三さん＝浜＝が務め、参加者は、体の動きを確かめながら晴天の町内を散策しました。

相馬町長から鍵を受け取る稲葉団長



第1分団に新型消防車両を配備

可搬消防ポンプ付き積載車 引渡式

町消防団第1分団（見高入谷）の可搬消防ポンプ付き積載車の引渡式が2月25日、保健福祉センター駐車場で行われました。車両の鍵が相馬宏行町長から稲葉伸晃団長へ、さらに鈴木博文分団長に手渡されました。式後、見高入谷蔵置場で入魂式が行われました。平成9年に購入した可搬消防ポンプ付き積載車が老朽のため、17年ぶりの更新となりました。

恒例の子ども相撲を開催

笹原城山祭

笹原区の城山祭が2月23日、河津城跡公園で行われ子ども相撲や役員による餅投げなどに区民約70人が参加し賑いました。小学生が参加した恒例の子ども相撲では、子どもたちが学年別に分かれて、男女それぞれ相撲を取り、熱戦を繰り広げました。前田康夫笹原区長は「代々引き継がれていく、伝統行事の重みを知ってほしい」と話しました。



恒例の子ども相撲

ZOOM IN KAWAZU

まちの出来事

園児47人が卒園

さくら幼稚園 卒園式

町立さくら幼稚園（松下れい子園長）の卒園式が3月14日に行われ、園児47人が思い出のたくさん詰まった園舎を巣立っていました。卒園児たちは担任の先生から名前を読み上げられると、元気に返事をして松下園長から修了証書を受け取りました。松下園長は「3年間の幼稚園生活で学んだことは、小学校に入学してからも大切なことです。これからも精一杯頑張ってください」とあいさつ。最後に全員でお別れの歌を歌い、新たな旅立ちを祝いました。



お別れの歌を歌う卒園児たち

開館1周年を記念しイベントでおもてなし



仏像観覧とおもてなしに大満足

河津平安の仏像展示館開館 1 周年

「伊豆ならんだの里 河津平安の仏像展示館」で2月20日、開館1周年記念イベントが行われ、地域住民や観光客に伊勢エビのみそ汁やお汁粉、つくたてのあんこ餅、きな粉餅などが振る舞われました。埼玉県所沢市のご夫婦は「のぼり旗を見て立ち寄りました。平安時代の貴重な仏像を見ることができたうえに、数多くのおもてなしに大満足です」と話してくれました。

図書館カレンダー

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

■は休館日です。本の返却は返却ボックスへ。

今月のおはなし会

「さくらの会」読み聞かせ会
毎週日曜日 14時30分～
4月6・13・20・27日

乳幼児向けの読み聞かせ
「はらべこあおむしの会」
0・1・2歳児向け 10時10分～10時30分
2・3歳児向け 10時40分～11時
(木曜日)
4月10・17・24日
幼児向け 14時30分～15時
(第2木曜日)
4月10日

小学生向けの読み聞かせ
「時間のはこぶね」
毎週木曜日 15時50分～16時20分
4月3・10・17・24日

※変更がある場合は、図書館に掲示します。

春です！図書館へ行こう！

平成15年4月に町立文化の家図書館が開館し、11年がたちました。今回は、図書館の利用のしかたについてご紹介します。まだ来館されたことのない人は、ぜひ一度、図書館に足を運んでみてください!!

■初めて借りるときは

図書館には、本・雑誌・DVDがあります。これらを借りるためには、利用者カードが必要になります。利用者カードは、館内でのインターネット利用やDVD閲覧にも必要です。

利用者カードの発行には、町内にお住まいの人が、登録申込書(図書館にあります)に必要事項を記入し、本人と確認のできる証明書(免許証・保険証・学生証など)の提示が必要となります。

利用者カードがその場で発行されすぐに利用できます。



貸出に必要な利用者カード

■貸出・返却について

借りたい本やDVDは、利用者カードと一緒に図書館カウンターへお持ちください。貸出は本や紙芝居は5冊、雑誌は3冊、DVDは3本まで借りることができます。貸出期間は、本が15日以内、雑誌とDVDが8日以内です。返却時には、カードは不要です。

持出禁止の資料については、館内でご覧ください。



図書5冊、雑誌3冊、DVD3本を一度に借りることができます。

かわづっこ子育てねっと主催 こどもの日おたのしみ会

■とき 4月27日(日) 14時30分～ ■かわづっこ子育てねっとは町内の子育て支援団体のネットワークです。
■ところ 生涯学習室


 語りかけから、始めよう。と き：4月24日(木)13時～
 今月のブックスタート ところ：保健福祉センターふれあいホール
 対象者：平成25年12月生まれの赤ちゃん

新着図書案内

ほかにも新着図書があります。貸出中の場合は予約できます。

書 名 (一般書)	著 者 名	出 版 社
ミッドナイト・バス	伊吹 有喜	文藝春秋
首折り男のための協奏曲	伊坂 幸太郎	新潮社
その手をにぎりた	柚木 麻子	小学館
エピソードで読む世界の国243 2014	エピソードで読む世界の国編集委員会編	山川出版社
ひと皿で一日分の野菜がとれるよくばりレシピ	石原 洋子	日本文芸社

書 名 (児童書)	著 者 名	出 版 社
おりがみにんじゃ	つきおか ゆみこ	あかね書房
ゆみちゃんとえんぴつさん	かたおか けいこ／作 たるいし まこ／絵	ひさかた社
ピクニック	ジョン・バーニンガム／作 谷川 俊太郎／訳	BL出版
そうだったのか！四字熟語	ねじめ 正一／文 たかい よしかず／絵	童心社
100円グッズで不思議！面白い！	工作・実験工房／著	理論社

保健のお知らせ

■健康相談および母子健康手帳交付

日 時 4月21日(月)
13時30分～15時30分
5月7日(水)
13時30分～15時30分

場 所 保健福祉センター

■育児相談

子育てには悩みがつきもの…、一人で悩まないで相談してください。

日 時 5月13日(火)
9時30分～11時30分

場 所 保健福祉センター
ふれあいホール

対象者 子育て中の保護者
内 容 身体測定、離乳食、育児相談
歯科衛生士による歯科相談、
フッ素塗布(希望者)

持ち物 母子健康手帳



ふれあいホールにて

■のびのび発達検査

2カ月に1回、児童相談所心理司による精神発達精密検査と個別相談を行っています。子どもの言葉の発達やしつけなどで心配なことがある人、利用したい人は、保健福祉課まで連絡してください。

●今月のテーマ 町の健診（検診）について

保健福祉課 ☎34-1937

町で行う各種健診（検診）

【特定健康診査】実施時期：5・9月下旬

対象年齢：①40～74歳の国民健康保険に加入している人
②75歳以上の後期高齢者医療保険に加入している人
負担金：①1000円 ②500円

【胃がん検診】実施時期：7・10月下旬

対象年齢：35歳以上
負担金：700円・70歳以上無料

【肺がん検診】実施時期：5・7・9・10月下旬

対象年齢：40歳以上
負担金：無料・(喀痰検査500円・70歳以上無料)

【大腸がん検診】実施時期：5・7・9・10月下旬

対象年齢：40歳以上
負担金：300円・70歳以上無料

【子宮頸がん検診】実施時期：11～12月頃

対象年齢：20歳以上の女性
負担金：1300円・70歳以上無料

【乳がん検診】実施時期：H27年1月

対象年齢：40歳以上の女性
負担金：1000円・70歳以上無料

【歯周病・口腔がん検診】実施時期：9月～H27年2月

対象年齢：40・50・60・70歳
負担金：1000円・70歳は無料

こんにちは
保健師です。

今年度も各種健診（検診）を実施します。町の健診（検診）は、個人が医療機関で健診（検診）を受ける場合と比べ、5分の1以下の負担金で受診できます。実施日時は、回覧および個人への郵送にてご案内します。

子育て世帯の 住宅整備に補助

「子育てファミリー住宅整備支援事業補助金」制度の終了に伴い、町では単独で「子育て応援！住宅整備事業補助金」制度を実施します。補助対象には、いくつかの条件があります。詳しくはお問い合わせください。

【問い合わせ】

保健福祉課福祉係 ☎34-1937

子育て応援！住宅整備事業補助金

区分	対象経費	補助額
新築工事	木造住宅の新築工事に要する経費	対象経費の1／10（上限15万円）
増改築工事	既存住宅の増築工事、改築工事(住宅の一部を解体し造り替えること)に要する経費	対象経費の1／10（上限15万円）
リフォーム工事	既存住宅の機能や性能を維持向上させるための修繕や補修、模様替えなどに要する経費	対象経費の1／10（上限15万円）

■補助対象者

○4月1日現在で満18歳未満の子どもがいる世帯。または申請時点で妊婦のいる世帯。
○町内に住所があり居住している人。(居住する意思があり住民登録をする人は可)
○住宅などの所有者および居住者。(所有者が親・子の場合は可)
○本人および同一世帯全員に町税などの滞納がない人。

ひとの動き

戸籍だより

(2月1日～28日出出)

相 談

行政相談と生活相談

日 時 4月16日(水) 10時～15時
場 所 役場2階 第2会議室
問 町民生活課窓口係 ☎34－1932

身近なこと生活相談へ

日 時 5月7日(水) 10時～15時
場 所 保健福祉センター
ボランティア団体室
問 社会福祉協議会 ☎34－1286

日本年金機構出張相談

日時・場所
4月18日(金) 河津町役場(4月から河津町商工会から会場が変更になります)
5月9日(金) 下田市役所 (要予約)
9時30分～11時30分 13時～14時
問 町民生活課保険年金係 ☎34－1932
(予約は下田市役所国保年金係 ☎22－3922まで)

無料日曜日遺言等公証相談

身近な問題に公正証書を作成しておく
と安心です。無料で相談に応じます。
日 時 5月11日(日) 10時～15時
場 所 下田公証役場
内 容 相続、遺言、任意後見、離婚給付
金銭貸借、年金分割など
申 込 予約制(事前電話受付)
問 下田公証役場 ☎22－5521

高次脳機能障がい相談

高次脳機能障がいがあり、日常生活
で困っていることや福祉サービスに関
する相談会を開催します。
日 時 5月7日(水) 10時～11時30分
(奇数月の第1水曜日)
場 所 保健福祉センター1階 相談室
問 障がい者相談支援事業所
高次脳機能障がい支援拠点オリブ
☎43－3131 ☎24－2052

お知らせ

今月のふれあい町長室

町長と直接対話でき
ます。事前に電話予約
してください。

日 時 4月28日(月)
13時30分～
1人20分程度 団体不可

場 所 役場町長室
予約受付 4月21日(月)～25日(金)
問 まちづくり推進課 ☎34－1924

犬・ねこ引き取ります

飼い主のいない犬・ねこを引き取り
ます。4月から時間が変更になります。
日 時 4月23日(水)
10時40分～10時50分

場 所 役場前駐車場
問 町民生活課窓口係 ☎34－1932

春の交通安全運動スタート

4月6日から15日まで、春の全国交通
安全運動が実施されます。自転車の安
全利用とシートベルトおよびチャイル
ドシートの着用、飲酒運転の根絶など
を徹底しましょう。また、4月10日は交
通事故死ゼロを目指す日です。交通安
全の意識を高めましょう。

問 総務課消防防災係 ☎34－1913

エイズ検査と肝炎検査

検査前日の16時までに電話予約して
ください。検査は無料・匿名。

日 時 4月24日(木)
問診・採血 9時～12時(要予約)
結果通知 エイズ検査 14時～17時
肝炎検査 約2週間後

場 所 賀茂保健所1階 相談室
その他 エイズ検査は、感染の心配の
あった日から3カ月後に受けてください。
相談は随時受け付けています。

問 賀茂保健所 地域医療課

空き巣・忍込みの被害に注意

下田警察署管内で、昨年発生した空
き巣や忍込みは合計21件です。そのほ
とんどが、カギをかけていなかったた
めにおきています。

被害に遭わないための対策

①入浴や就寝するときなど、在宅中
でも必ずカギをかける
②玄関にセンサーライトなどの防犯装
置を設置して、泥棒が侵入しにくい環
境をつくる
③普段見かけない人を見かけたら、「こ
んにちは」「どちらかお探しですか？」
などと地域ぐるみで声をかける

問 下田警察署管内防犯協会
☎27－2766

でんき家計簿を使ってみよう

でんき家計簿とは、毎月の電気料金
や使用料をはじめ、電気料金メニュー
を変更した場合の試算結果をインター
ネットでご確認いただけるサービスで
す。登録は無料です。

サービス内容

・電気料金のチェック
・平均使用料と比較
・料金メニュー比較シミュレーション
詳細は東京電力ホームページをご覧
ください。

http://www.tepco.co.jp/kakeibo/

問 東京電力
電気料金問い合わせダイヤル
☎0120－993－052

4施設で「ふれあい看護体験」参加者募集

「ふれあい看護体験」は、住民に保健
医療福祉施設がドアを開き、見学や簡
単な看護体験、関係者との交流などを
行うイベントです。

応募方法 郵便往復ハガキに次の事項
を記入して、希望施設のふれあい看護
体験係へ直接申し込んでください。

往信裏面 ①希望施設名と希望日 ②住

所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤性別
⑥職業(学生・事務職など) ⑦電話番
号 ⑧洋服サイズ ⑨応募の理由 ⑩体験
を何で知ったか

返信表面 ①住所 ②氏名

応募締切 4月22日(火) 必着

問 県ナースセンター ☎054-202-1761
http://www.shizuoka-na.jp/

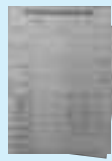
募集施設	日 時	1日の 受入人数	住 所
下田メディカル センター	5月12日(月)～16日(金) 9時～16時	6	〒415-0026 下田市6丁目4-10
介護老人保健施設 ふれあいの下田	5月19日(月)～21日(水) 9時～16時	1	〒415-0013 下田市柿崎32-10
伊豆今井浜病院	5月13日(火)～14日(水) 9時～16時	6	〒413-0503 河津町見高178
伊豆東部総合病院	5月24日(土) 9時～15時30分	6	〒413-0411 東伊豆町稲取17-2

【国民健康保険自己負担割合が変わりました】

70歳から74歳までの自己負担割合	
昭和19年4月2日以降 生まれの人	昭和19年4月1日以前 生まれの人
平成26年度から 2割 新たに70歳になる人	据え置かれます 1割 すでに70歳以上の人
現役並み所得者 3割	

70歳になると、一定の所得のある人を除く、医療費の自己負担割合は、法律上2割ですが、負担を軽減するためにこれまで1割にされてきました。これが平成26年度から、新たに70歳になる人から2割にし、平成31年度には70歳までの人全体が2割負担となります。

Let's
ほけん塾
4



町民生活課
保険年金係
☎(34)1932

国保高齢受給者証の
自己負担割合が
4月から変わりました

春の農作業安全運動実施中

4月1日から5月31日まで、県内全域で
春の農作業安全運動が行われています。
春は農繁期を迎え、農業機械を扱う機
会が多くなります。農作業事故は、単
純なミスがおこらないよう注意するこ
とで防ぐことができます。適度な休息
を取り、基本的な注意事項を確認し、
事故の原因を取り除きましょう。

問 産業振興課農林水産係
☎34－1946

白馬村との交流を応援

町は昭和57年7月、長野県白馬村と姉
妹都市を提携しました。長野県白馬村
と交流する各種団体に、白馬村までの
交通費の2分の1を補助しています。姉
妹都市交流計画のある団体は、まちづ
くり推進課までご連絡ください。

問 まちづくり推進課 ☎34－1924

文芸かわづ第13号発刊

「文芸かわづ」第13
号が発刊されました。
随筆・詩・短歌・俳
句などを集めた文芸
集です。町在住、在
勤、出身者から応募
のあった作品のほ
か、河津中生徒からの作品も多く掲載
されています。冊子は、A5版、100ペー
ジ。教育委員会と文化の家図書館で配
布しています。

問 教育委員会社会教育係 ☎34－1117

※このコーナーに掲載を望まない
場合は、お申し出ください。

人口と世帯

(3月1日現在)

人 口	7,804 人	前月比 (－2)
(男)	3,764 人	
(女)	4,040 人	
世帯数	3,313 世帯	前月比 (+3)



ピアノの練習に励む神尾さん



ピアノと絵を上達させて 保育士になりたい

神尾 京花さん

かみお きょうか
笹原
南小学校6年

私は、小さい子どもが大好きです。小さい子どもが公園などにいると、一緒に遊びたくなります。そして、小さい子どもの「教えて」という言葉が好きで、教えてあげたくなります。

私が保育士になると決めたのは、小学校三年生のときです。小学校のグラウンドにある姫宮森の遊具で、さくら幼稚園の園児と幼稚園の先生が遊んでいるのを見て、楽しそうだなと思ったからです。また、幼稚園の先生に「大人になったら保育士を目指してみたら」とすすめられたのもきっかけです。

私はピアノや絵を上達させて、保育士になるという夢を必ずかなえたいと思います。



広報かわづが創刊500号を迎え、元民間広報協力員や広報かわづを読んでもくれている皆さんにお話を伺いました。広報かわづが多くの人の手によって作られ、今も昔も、皆さんにとって身近なものであることを再認識しました。

広報かわづの担当になり早1年。最初に掲げた目標の「正確に」、「わかりやすく」をもう一度見つめ直し、手に取って読んでもらうための工夫を考え、これからも、広報かわづの伝統をつなげていきたいと思っています。

(k)

姉妹都市長野県白馬村通信

ソチオリンピッククロスカントリー日本代表
成瀬野生選手表敬訪問及び引退会見



成瀬選手の表敬訪問（左から2人目）

3月7日(金)に2014ソチオリンピッククロスカントリー日本代表の成瀬野生選手の表敬訪問及び引退会見が行なわれました。

成瀬選手はソチオリンピックで3大会連続のオリンピック出場となり、長年日

本代表を牽引してきましたが、過日開催された第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会への出場をもって引退となりました。今後はクロスカントリー競技での選手育成や一般への普及に努めたいとのこと。今後の成瀬選手の更なるご活躍を祈念いたします。大変お疲れ様でした。

※今月号は500号記念特集にともない一部コーナーの掲載場所を変えています。来月号から通常の形態に戻ります。